

『就労移行支援事業所 チャレジョブセンター浦和 Information』のプラスアルファ。  
メンバーさんたちの『リアル』をお届けします。

今月号は就活講座のようすをご紹介します

テーマは『さまざまな働き方』

働き方にも種類があります。福祉就労か一般就労か、  
障がいを開示するかしないか、  
サテライトオフィスとは？特例子会社とは何・・・？  
大切なのは、どの働き方が自分に合っているかです♪



実はこの翌日、  
人材派遣サービス会社の  
特例子会社の人事ご担当者様が、  
会社説明会のため当センターに  
来てくださいました！  
その予習もかねた内容です！

講師：今日は、さまざまな働き方についてです。「福祉就労」と「一般就労」の違い、ご存じですか？

—うう～ん…(笑)

講師：「福祉就労」は、障がいのある方が福祉的な支援を受けながら働くことを指します。一方で「一般就労」は、一般企業や官公庁などで、障がいのない方と同じように雇用契約を結んで働くことを指します。

～この後、福祉就労と一般就労について話が展開！  
しかし泣く泣く中略…～

講師：さて、一般就労には「一般雇用」と「障害者雇用」があります。ここにいる皆さんは、障害者雇用を希望されていますよね。

—(頷く皆さん)。

講師：さらに障害者雇用の中にも、「一般企業」と「サテライトオフィス」「特例子会社」があります。では、「特例子会社」って聞いたことない人いますか？

—はい(数名が挙手)。

講師：お、初めて？じゃあ「サテライトオフィス」はどう？聞いたことある？

—よくは知りません…(笑)

講師：あっ本当？やりがいあるなあ(笑)いえいえい！

—いえいえい！(笑)

講師：じゃあそれぞれのメリット・注意点を説明していきますね。

—(メモ手に、真剣なまなざしを向ける皆さん)

講師：まずは「一般企業」。一般企業では、同じオフィスの中で、色々な人が働いています。障害者手帳を持っている人も、持っていない人も、です！メリットとしては、会社との一体感が得られるというのがありますね。

～皆さんとても真剣な表情のまま、

話はどんどん深まります～

講師：一般企業の注意点としては、一緒に働く人が、必ずしも障がいを理解しているとは限らないということ。向こうは配慮しているつもりでも、こっちが求めているレベルの配慮になるとは限りません。

—(頷きながらメモメモ)。

講師：一方で「サテライトオフィス」は、企業が本社とは別の場所に設置したオフィス。障がい者が自分に合った環境で働けるように業務調整されています。個別のサポートをもらいやすいですね！注意点は、仕事内容が親会社のイメージとは異なる場合があること。また、オフィスに看板がないことが多いです。契約は本社です。

—(へえ～と控えめに感心の声があがります)

講師：そして最後、「特例子会社」。これは、障害者雇用に特化した会社を、別に作ってしまうこと！

—お、おお～…！！(笑)

講師：親会社が、障害者雇用を促進するために設立した子会社です。法人として登録しているので、看板もあります。サテライトと違って、契約は本社ではなく子会社です。明日、説明にいらっしゃる会社様が、まさに特例子会社ですね。どんなところか、確認しましたか？

—人材派遣サービス会社ですよ！

講師：そうです！とても勉強になると思うので、是非！サテライトと特例子会社は、形態は違うけれど、目的は近いです。さまざまな特性を持った方と一緒に働くので、時には「苦手だな…」という方もいるかもしれません。本日は色々ご紹介しましたが、大切なのは、皆さんがどのように働きたいかです！参考にしてくださいね。